

## 茨木スクールカウンセラー研究会 日記

第60回 2016年10月「父性について」の巻

前半は、重松清さんのある小説の一話を題材に、それぞれの思いを話しました。動かせない現実直面した時、相談者のどうしようもない痛みにふれた時、それに正面から向き合ってクリアにすることと、その痛みをそのままに感じることとの間での葛藤を感じました。

事例では、緩和ケア病棟でのケースについて話し合いました。感じること、感じ続けること、心理士ならではの感性を学ぶことができました。

記録： 渡辺（臨床心理士）

日時： 2016年10月8日(日) 10:00～12:00  
場所： 茨木市立男女共生センター（ローズWAM）  
参加者： 8名（大阪府、奈良県 SC・医療分野 CP・福祉分野 CP）

内容：

前半：参加者から話題提供

テーマ：父親の目線から描かれたある物語

後半：心理アセスメントの練習

事例：緩和ケア病棟でのケース

次回開催予定：2016年11月13日(日) 10:00～12:00  
茨木市立男女共生センター ローズWAM

テーマ：不登校